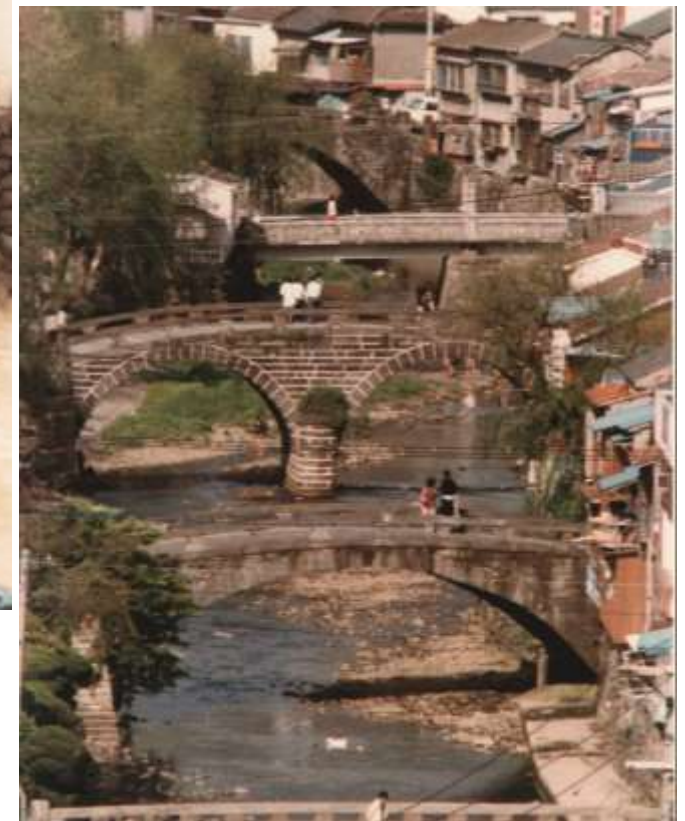


中島川の被害状況①

中島川は、長崎市の繁華街を貫流して長崎港に注ぐ、延長約 5.5km、流域面積約 17.9km² の二級河川です。中島川周辺は、長崎大水害において、浸水面積 107ha、浸水被害家屋数 4,429 戸という被害に見舞われました。(1ha=10,000m²)

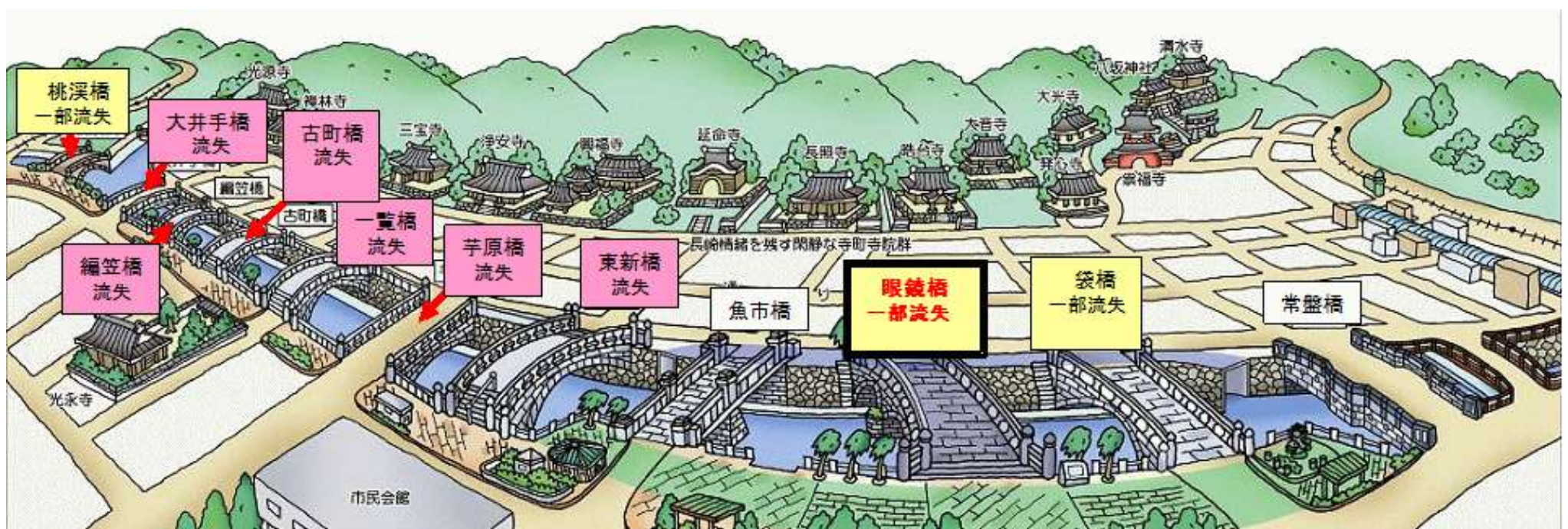
石橋群の被害

中島川には、国の重要文化財に指定されている眼鏡橋をはじめ、主に江戸時代前半に架けられた 11 の石橋群がありましたが、この石橋群も大きく被災し、11 橋のうち 6 橋が流出し、眼鏡橋を含む 3 橋が、アーチ部を残して一部流失しました。



中島川の氾濫により一部流出した国指定重要文化財の眼鏡橋。この眼鏡橋の被災は、中島川の復興事業に重要な課題をなげかけることになりました。

被災前の中島川石橋群



中島川石橋群の被災状況図